

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	B-2(左岸側)		調査位置											北緯	36° 53' 51.0000"								
発注機関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2010-09-24 ~ 2010-09-30										東経	140° 01' 55.0000"							
調査業者名				主任技師											現場代理人			コーン定者			ボーリング責任者		
孔口標高	235.46 m	角度			地盤勾配			使用機種											ハンマー	落下用具			
総掘進長	8.32 m						エンジン											ポンプ					

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進月日			
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N	値								
234.96	0.50	0.50		盛土・舗装 (BS)	灰			アスファルト厚6cm 砕石(40-0)で構成			1.15	3	2	3	8	30							
232.96	2.00	2.50		盛土・粘土混じり砂 (BS/S-C)	灰茶褐	緩い		中砂主体 径 10~20mmの亜円・亜角礫少量混入 少量の粘土分混入			1.45												
				盛土・礫混じり粘土 (BS/CH-G)	灰褐	中位		含水比・粘性下位 植生根・腐植物混入 礫は径 10~40mmの亜円・亜角礫混入 所々砂分多く混入 3.90~4.20m間木片・腐食物多く混入 4.20~4.50m間礫主体			2.15	2	2	2	6	30							
230.66	2.30	4.80		粘土混じり砂礫 (GS-C)	灰茶褐	密な		礫は径 10~40mmの亜円・亜角礫主体 マトリックスは細粒土・粗砂 所々に径 50~60mmの粗礫混入 孔壁は自立する		09/29 5.90	3.15	1	1	5	7	30							
											3.45	6	5	5	16	30							
											4.15												
											4.45												
											5.15	11	16	13	40	30							09/27
											5.45												
											6.15	16	23	7	50	27	>50						
											6.42												
											7.15	19	19	12	50	26	>50						
											7.41												
											8.15												
											8.32	20	30	7	50	17	>50						09/29